

FY2024_3Q

ミーティング補助資料

2025.2

DISCLAIMER

Statements in this PowerPoint with respect to DISCO's current strategies, plans, estimates, and beliefs and other statements that are not historical facts are forward-looking statements about the future performance of DISCO. These statements are based on management's assumptions and beliefs in light of the information currently available to it and therefore you should not place undue reliance on them. DISCO cautions you that a number of important factors could cause actual results to differ materially from those discussed in the forward-looking statements, and you should not make decision on your investment thoroughly based on these statements. Such factors include, but not limited to, (i) general economic conditions and levels of demand in DISCO's markets; (ii) developments in technology and resulting changes in semiconductor and/or electronic component manufacturing process; (iii) levels of capital investment for manufacturing semiconductors and/or electronic components; (iv) expansions of the area for products and technologies using semiconductors and/or electronic components and its expanding speed; (v) DISCO's ability to continue to offer products and services corresponding to developments of new semiconductors and/or electronic components and new technologies for manufacturing them; (vi) exchange rates, particularly between the yen, the U.S. dollar, and the euro, and other currencies.

将来の見通しについて

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料の利用について

プレゼンテーション資料に記載されている情報の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。本資料は各国の法律によって明示的に認められる範囲を超えて資料を使用・引用する場合、当社の文書等による承諾が必要です。

<https://www.disco.co.jp/>

特定顧客に関わるご質問は回答出来かねます

特定顧客の製造プロセスや生産キャパシティ、引き合い・投資動向など、個別企業の生産秘密情報が推測可能なご質問は回答出来かねます。

半導体メーカー各社によって技術・製造プロセスが異なる場合があり、それらは各社の生産秘密情報にあたります。特定顧客からの注文状況、装置仕様やスループットなどは原則として回答いたしません。

- ✓ パワー半導体の需要はEVシフト鈍化などにより弱含みの傾向が強まる
- ✓ 生成 A I 向けはロジック・パッケージが増加傾向（金額非開示）
- ✓ P C、スマートフォンなどの量産用途向け装置需要の回復は確認できず
- ✓ OSATは地域別で投資動向に濃淡が見られる
- ✓ 競争環境に大きな変化は無い

【出荷】 装置全体での構成比

		FY24			予測
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
顧客分類	OSAT	30%弱	30%	20%	25%
用途分類	Memory ※	30%強	35%	30%強	30%
	Power	20%	20%	15%	15%
	Si	5%	10%弱	5%	-
	SiC	15%	10%強	10%	-

※生成AI関連含む

- 10-12月期 実績：高水準のGPM継続
引き続き高付加価値案件などが貢献

- 1-3月期 利益計画（考え方は従来通り）
 - QoQ 約2p低下で計画策定
前年度（FY23）の傾向を参照して計画を策定
 - 製品群別（ダイサ、レーザ、グラインダなど）や地域別の傾向に為替レートを補正したGPM計画
 - 個別案件毎の精緻な利益計画は算出していないが特段ネガティブな要因は見当たらない
 - 業績連動費用が若干増加する可能性有り（詳細は次頁販管費参照）

■ 10-12月期 実績：275億円 計画に対して想定通り

■ 1-3月期 計画：315億円

業績連動賞与の引当計算方法を変更により増加（一過性含む）

従来：検収ベースPL（財務会計）の利益で引当方法を計算

→市況と異なる動きでの業績連動引当

今後：CFベース出荷PL（入金※済みかつ出荷済み案件で損益を計算）

→市況連動に近い賞与引当へ

※入金タイミングは「出荷前に前受金」「出荷後に入金」など案件毎に様々

今後、検収ベースPLの売上高増減は、販売管理費の増減と連動しない

1-3月期は引当計算方法の変更影響により費用計上が偏重

来期以降の販管費は四半期出荷額にある程度連動して増減するイメージ

3ヶ月前から大きな変更無し

- ✓ 将来的に工場拡張など大型設備投資を見据えた土地の購入を検討中
- ✓ 羽田R&Dセンターの建て替え投資金額 約130億円 (FY25~)
→ 来期 (FY25) はCAPEX水準が上昇する見込み
- ✓ 研究開発機材の購入などで設備投資額が増加
支店オフィスの拡張や寮設備など小規模な設備投資は随時実施

FY24着地見込み

- CAPEX 約160億円 生産設備や研究開発などの合理化投資+用地取得など
- Dep 約120億円 生産設備増強などで横ばい~若干増加
- R&D 約320億円 人員・開発テーマの増加

本資料について

掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について

年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY（Fiscal Year）と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。

金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。

%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項

この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用（複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む）するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

<https://www.disco.co.jp/>